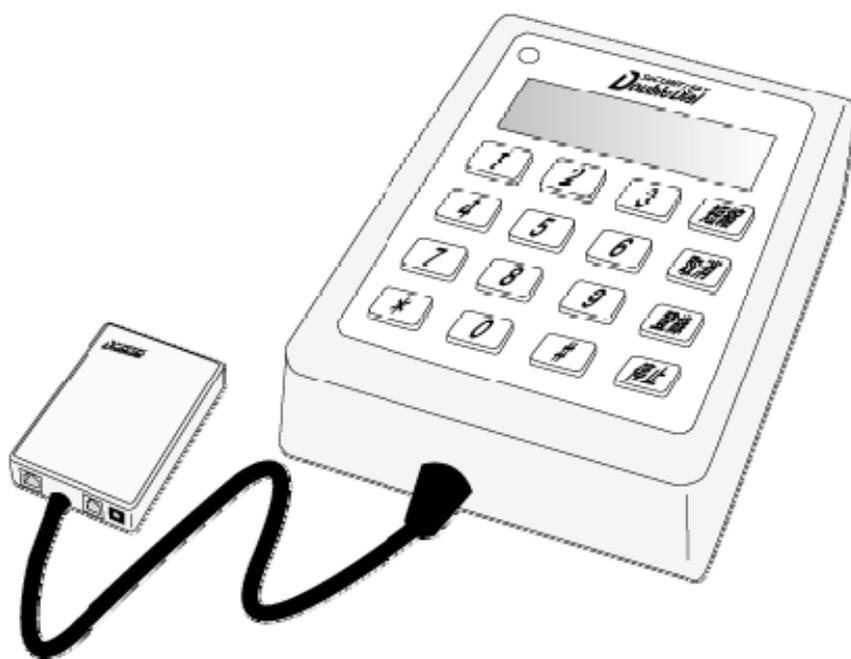
ＦＡＸ誤送信防止シリーズ

SeCURITY FAX DoubleDial （ダブルダイヤル）

取 扱 説 明 書

本取扱説明書は､ダブルダイヤル６４とダブルダイヤル５１２の２機種に共通です。

◆この度は、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

V01

目　　次

はじめに

　このたびは、**ダブルダイヤル**（以降、本装置と記述）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
　この説明書を良くお読みいただき、本装置の機能を十分発揮できますように正しくお取扱い、運用いただきますようお願い申し上げます。この説明書は保証書、付属品と共に大切に保管してください。

ご使用上の注意

〇本装置及び付属品の使用により生じた金銭上の障害逸失利益又は第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
〇本装置及び付属品は、改良の為予告なしに変更することがあります。
〇本装置の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって、通信、録音等の機会を逸したため生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意：本書の内容については、改良のため将来予告なしに変更することがあります。

１．本装置を使用するための準備

１．１　必ずお読みください

この取扱説明書は、本装置の取扱方法および各機能の操作方法について説明しています。

●安全に正しくお使いいただくために
この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な絵表示をしています。その表示と意味は次の様になっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。**

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い：この表示を無視して，誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮されないほか、機能停止をまねく恐れのある内容を示しています。

絵　表　示　の　例

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図は湿度の高い場所への設置禁止）を示しています。

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容(左図は火気のそばへの設置禁止)を示しています。

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図は AC アダプタをコンセントから抜く行為）を示しています。

注 意 事 項

■設置場所について

⚠警 告

●湿度の高い場所への設置禁止
風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

●火気のそばへの設置禁止
本気や電源コードを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。カバーや電源コードの被服が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。

●湿度の高い場所への設置禁止
直射日光の当たるところや、湿度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因になることがあります。

●油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止
調理台のそば等油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電となることがあります。

⚠注 意

●不安定な場所への設置禁止
ぐらついた台の上や傾いたところ等、不安定な場所に置かないでください。
また、本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。

⚠注 意

●通風孔をふさぐことの禁止
本機（カバー）の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。次のような使い方はしないでください。

・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける　・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む

お願い

●本機を正常にまた安全に使用していただくために、
次のようなところへの設置は避けてください。
・ほこりや振動が多い場所　・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
・ラジオやテレビ等のすぐそばや、強い磁界を発生する装置などが近くにある場所

■使用について

（1）もしもこんなときは

⚠警　告
●発煙への対処 万一、煙が出ている、変な臭いがする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の AC アダプタを抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。 ●水が装置内部に入った場合の対処 万一、内部に水が入った場合は、すぐに本機の AC アダプタを抜き、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●異物が装置内部に入った場合の対処 本装置の内部に金属類や燃えやすい物等の、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本機の AC アダプタを抜き、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災。感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ●電源コードが傷んだ場合の対処 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線等）のまま使用すると、火災・感電となります。すぐに本機の AC アダプタを抜いてご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

（2）電源について

⚠警　告
●商用電源以外の禁止 AC100V 家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、やむを得ず同じ電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。 ●AC アダプタ 専用の AC アダプタ以外は絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。 ●電源コードの取扱注意 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが損傷し、火災・感電の原因となります ●ぬれた手での操作禁止 ぬれた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。 ●たこあし配線の禁止 テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注　意

●アダプタの取扱注意

AC アダプタを抜くときは、必ず AC アダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●乗ることの禁止

本機に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかったりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。

（３）禁止事項について

⚠ 警　告

●改造の禁止

本機を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●ぬらすことの禁止

本機に水が入ったり、ぬらさぬようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

●異物を入れないための注意

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は火災・感電の原因となります。

（４）その他のご注意

⚠ 注　意

●雷のときの注意

雷が発生した際は、ＡＣアダプタ及びモジュラーコードに触れないようにしてください。感電の恐れがあります。

●ＡＣアダプタの清掃

ＡＣアダプタとコンセントの間のほこりは定期的に（半年に１回程度）に取り除いてください。火災・感電の原因となることがあります。

●長期不在のときの注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。

１．２　回線接続の前に

- 本装置は回線の極性を自動的に認識設定を行います。電話回線、ファクシミリの接続を変更した場合などは、ＡＣアダプタを一度抜いて、２秒ほどたってからまた差し込んでください。
- ダイヤルトーン（発信音）につきましてはＮＴＴの局交換機のダイヤルトーンと若干異なりますが故障ではありません。
- 本装置は２線式アナログ電話回線用です。４線式等の電話回線やデジタル回線には接続できません。
- ＰＢＸ、ボタン電話の内線に接続する場合、電気的仕様がＮＴＴと同じか確認をしてください。
- 接続可能な電話機、ファクシミリは２線式アナログ回線用です。
- 無鳴動信号（F網 1300Hz）による着信には対応しておりません。
- 回線種別は自動認識です。電話機またはファクシミリ側のダイヤル種別を回線側に送出します。(PBをDP、DPをPBに変換する機能はありません)
- 本装置の電源オフ時は回線側とファクシミリ側が直結の状態になりますので番号照合による誤送信防止機能は働きません。
- キャッチホンサービス、メンバーズネット等の付加サービスにつきましては対応できませんのであらかじめご了承ください。

注意

本装置は順次蓄積ダイヤル方式（一時的にダイヤル番号を記憶してから順次送出を行います）で動作します。発信時には接続に通常より時間がかかります。

※ ダイヤルパルス回線はプッシュ回線よりダイヤルに時間が掛かります。

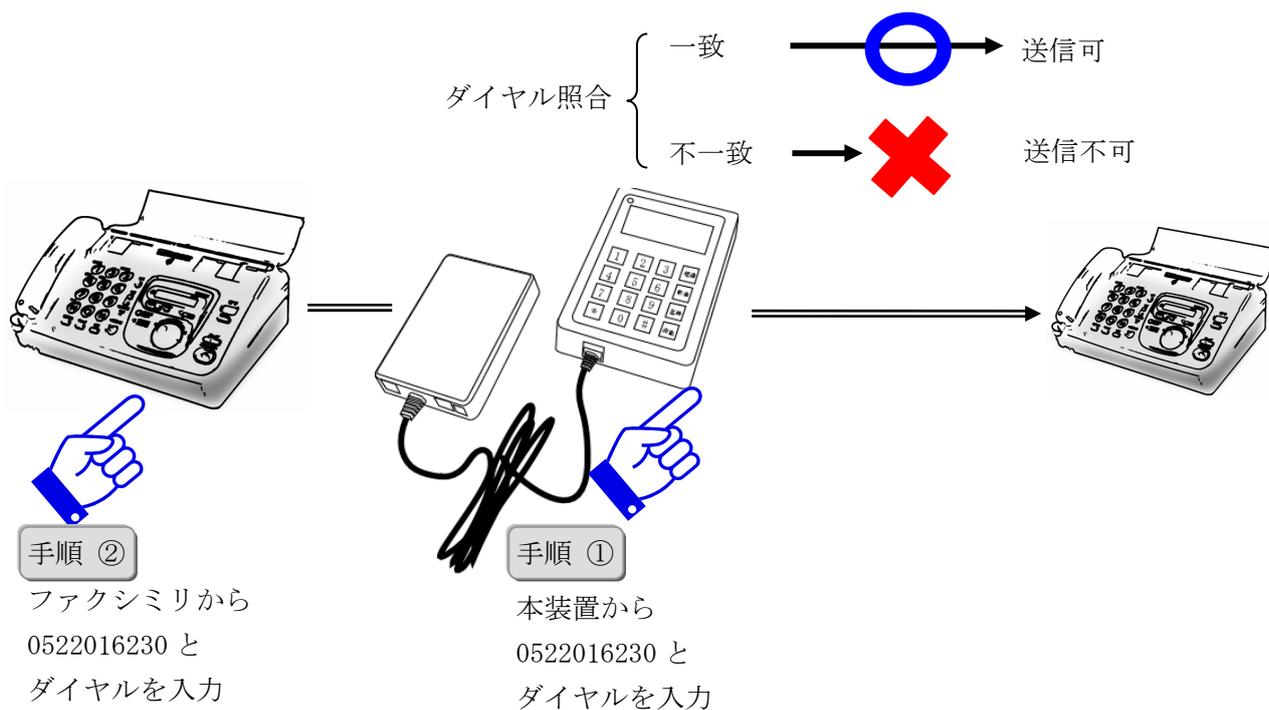
※TA(ターミナルアダプタ)は呼出信号の規格がＮＴＴ技術基準に適合しないものが数多くあります。TAのご利用の場合は事前に検証の上での設置をお願いします。

１．３　本装置使用上の注意

- 本装置によって提供される番号認証機能については、ファクシミリの日常的な操作による操作ミスを防止するための補助的な機能となります。
  そのため、意図した行為によるファックス誤送信などについては防ぐことができない場合がございます。
- 本装置は着信についての制御（着信拒否など）を行う装置ではないため、相手からの着信があった場合は、一般のファックス受信と同様の着信動作となります。

２．ダブルダイヤルとは

あらかじめ入力された送信先ダイヤル番号と、ファクシミリからのダイヤルを照合することで、ファックスの送信を許可するか否かを決定します。

ファックス送信先のダイヤルをファクシミリと本装置で２回(ダブル)、入力（ダイヤル）することでファックス誤送信を防止することができます。

３．製品構成

ご使用前に梱包されている内容をご確認ください。
万一、不足しているものがございましたら、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

本装置（操作部）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １台

本装置（インタフェース部）・・・・・・・・・・・・ １台

シリアルケーブル ・・・・・・・・・・・・・・・・・ １本

モジュラーコード２ｍ ・・・・・・・・・・・・・・ １本

ＡＣアダプタ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １個

ＣＤ－ＲＯＭ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ １枚

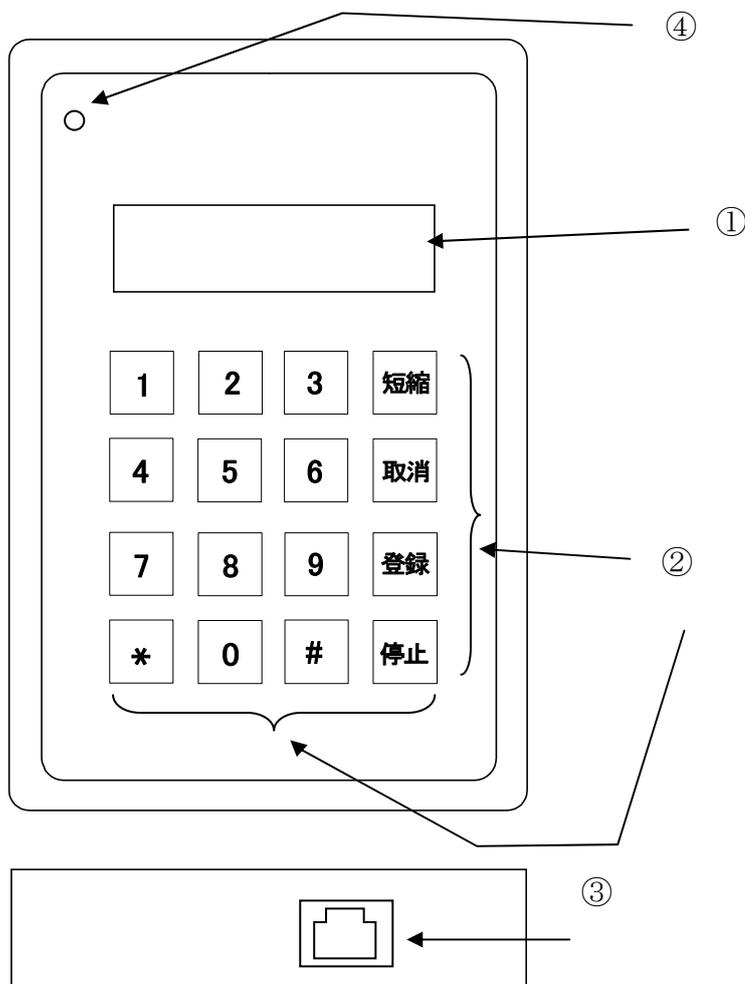
取扱説明書（保証書含む）・・・・・・・・・・・・・ １冊

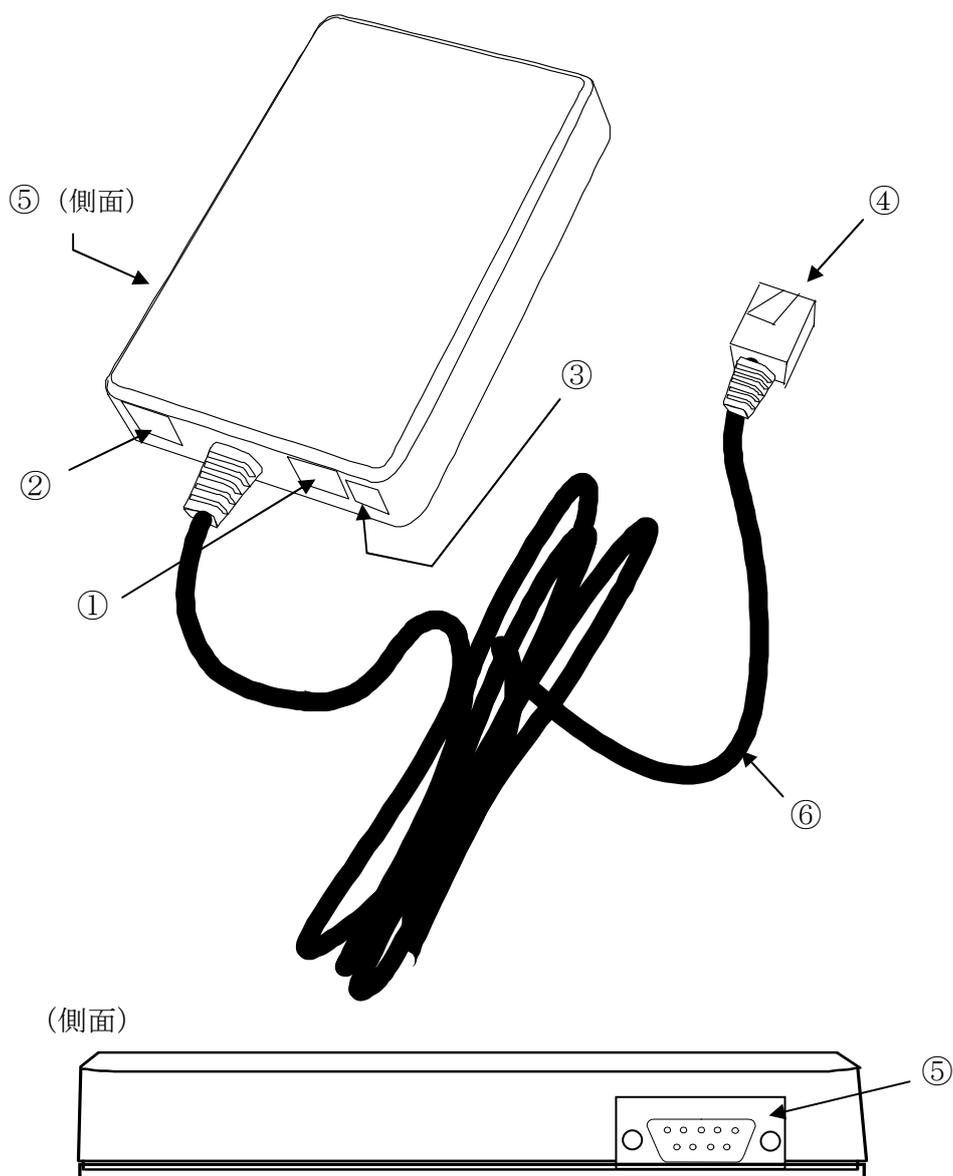
パラメータ設定ツール取扱説明書 ・・・・・・・・ １冊

付属ＣＤ－ＲＯＭには本装置のパラメータ設定を変更できるツールが収録されております。

４．各部の名称と説明

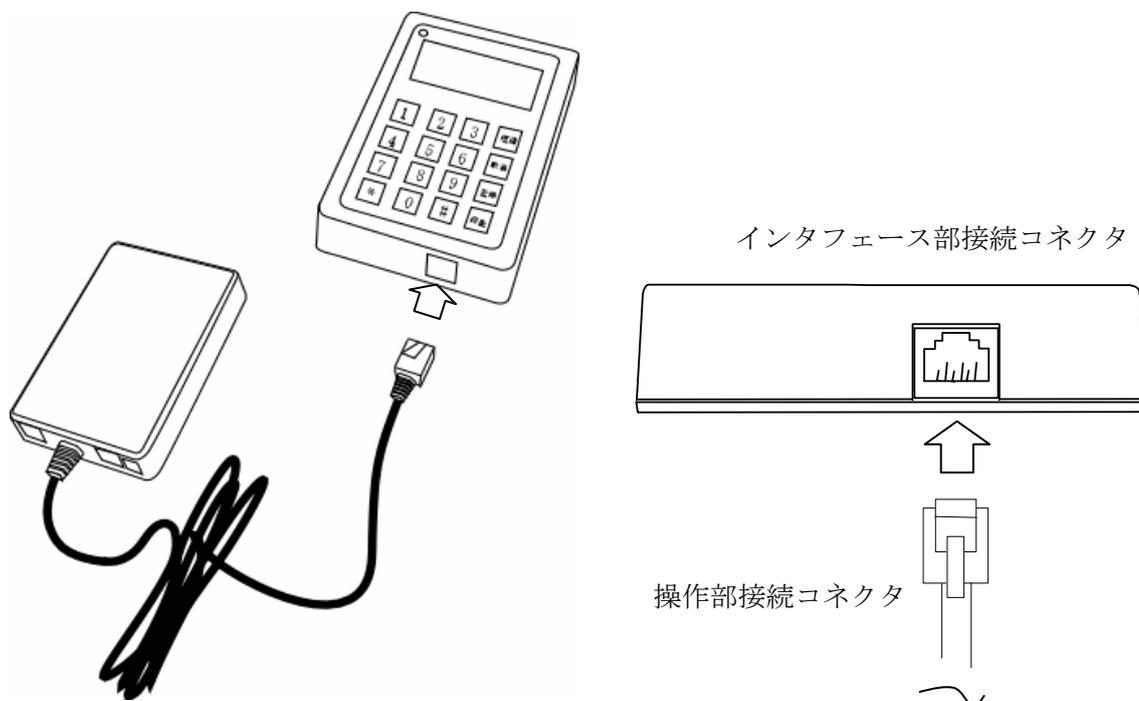
本装置は番号入力などの操作を行う操作部と回線やファクシミリを接続するインタフェース部の 2 部構成となっています。

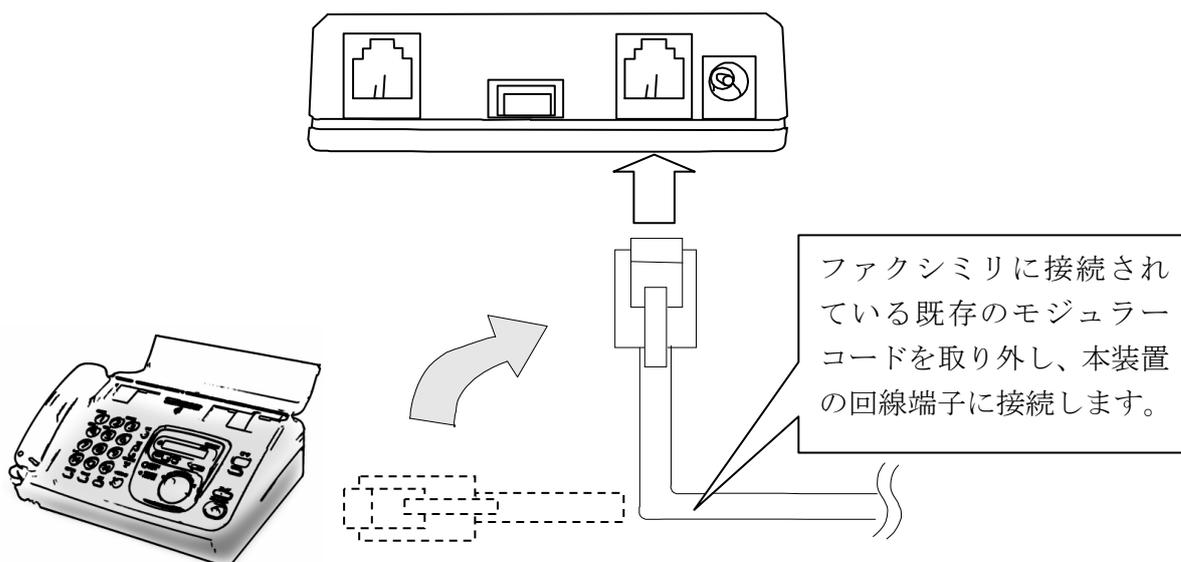
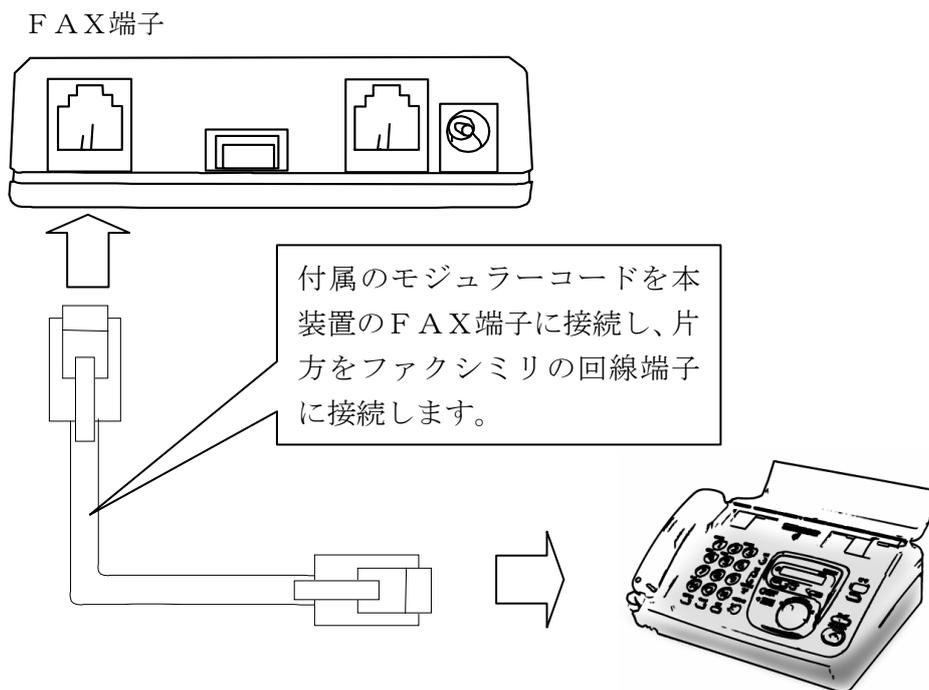
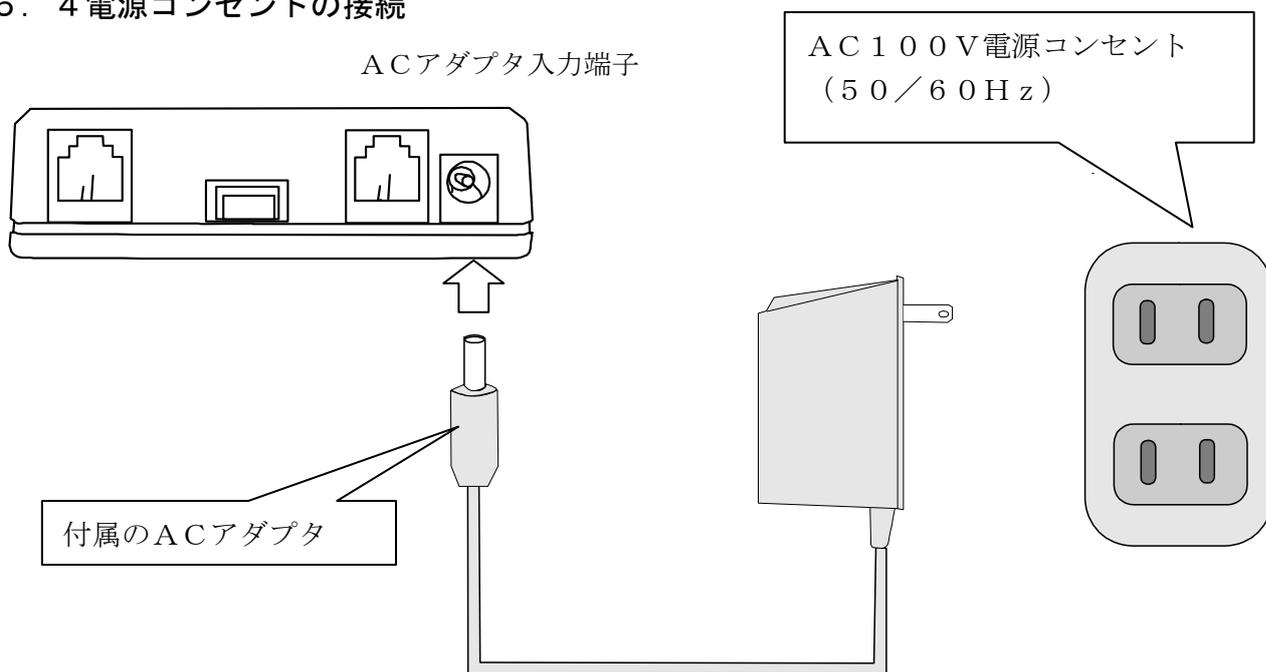
４．１操作部の名称と説明

No	名　　称	説　　　　明
①	液晶表示	入力した番号や動作状態について文字情報を表示します。
②	操作キー	番号の入力や登録、削除または、通信の停止を操作します。
③	インタフェース部接続端子	インタフェース部との接続端子です。 接続端子形状は RJ-45 です。
④	状態表示ランプ	動作の状態表示を行います。

４．２インタフェース部の名称と説明

No	名　称	説　　　明
①	回線端子	アナログ回線を接続します。
②	ＦＡＸ端子	ファクシミリを接続します。（Ｇ３/スーパーＧ３）
③	電源端子	ＡＣアダプタを接続します。（ＤＣ１５Ｖ/４００ｍＡ）
④	操作部接続コネクタ	操作部へ接続するコネクタです。（ＲＪ－４５）
⑤	PC インタフェース	外部パソコンと接続するためのシリアルインタフェースです。 コネクタはＤ－ｓｕｂ９オスです。
⑥	インタフェースケーブル	PC インタフェースのケーブルです。　長さ：約 2m

５．各装置の接続

接続する際は、「操作部とインタフェース部の接続⇒ファクシミリ及び回線の接続⇒電源の接続」の順序で行ってください。

５．１操作部とインタフェース部の接続

※操作部の電源が入っている状態で、操作部接続コネクタの抜き差しを行わないでください。

５．２回線との接続

５．３ファクシミリとの接続

５．４電源コンセントの接続

＜注意＞　電源はＡＣ100Ｖ、50/60Ｈｚ以外では使用しないでください。

６．ダイヤル番号の照合

本装置は、ファックス送信時にダイヤルされる番号の照合を行い、ファックス送信を許可するか否かを判定します。

６．１ダイヤル番号の照合方法

ダイヤル番号の照合には次の方法があります。

ダブルダイヤル	操作部の操作キーによる入力番号とファクシミリからのダイヤル番号を照合します。
短　　縮	操作部の操作キーによる短縮入力の番号とファクシミリからのダイヤル番号を照合します。**あらかじめ短縮登録が必要です。**
発信許可番号	本装置に登録されている番号とファクシミリからのダイヤル番号を照合します。**あらかじめ番号登録が必要です。**

６．２照合の組合せ

ダイヤル番号の照合は次の組合せがあります。

組合せ 1	ダブルダイヤル
組合せ 2	ダブルダイヤル　または　短　　縮
組合せ 3	発信許可番号　と　ダブルダイヤル　または　短　　縮
組合せ 4	発信許可番号　または　短　　縮　または　ダブルダイヤル

※**組合せ３による照合**は、ファクシミリからのダイヤル番号が、発信許可番号とダブルダイヤルの入力番号に一致した場合または、発信許可番号と短縮入力の番号に一致した場合に許可されるよう動作いたします。

※**組合せ４による照合**は、ファクシミリからのダイヤル番号が、発信許可番号か短縮入力かダブルダイヤルの入力番号のいずれかに一致した場合、許可されるよう動作いたします。

６．３番号登録

本装置は、短縮番号または発信許可番号を登録することができます。

登録の方法は 19 頁の「１１．システム設定方法」を参照してください。

６．４番号登録の件数

登録可能な件数は短縮番号と発信許可番号を合わせて 64 版 では３００件分、512 版 では１０００件分ができます。

短縮番号は３桁指定で、64 版 の場合では０００から２９９まで、512 版 では０００から９９９まで指定ができます。

発信許可番号は３２桁分の番号を登録できます。

７． 発信動作の基本的な使い方

７． １ダブルダイヤル入力による照合

1

操作部の状態表示ランプは点灯していること
液晶には「ﾊﾞﾝｺﾞｳ>　　　　　　」と表示されて
いることを確認します。

ﾊﾞﾝｺﾞｳ>

2

ファクシミリに送信準備のために原稿をセット
します。
ファクシミリからダイヤル操作は行いません。

3

操作部から相手先番号を押してダイヤルを入力
します。最大３２桁まで入力できます。

ﾊﾞﾝｺﾞｳ>0522016230

回線からの着信中に操作部より番号を入力したい場合の
操作は？ページをご覧ください。

着信通信中での液晶表示

ﾂｳｼﾝﾁｭｳ

4

入力した番号を確認して登録ボタンを押します。

ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ

登録のメッセージが表示され、ファクシミリから
のファックス送信待機の状態になります。

送信待機中の液晶表示

ﾄｳﾛｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ

0123456789

登録した番号を削除（キャンセル）したい場合は、
取消ボタンを２秒以上押します。

登録を削除した液晶表示

ﾄｳﾛｸ ｻｸｼﾞｮ

5

ファクシミリにて相手先の番号を入力して、ファ
クシミリのスタートキーを押し、ファックス送信
を開始します。
ファクシミリにて相手先番号を押すときは、必ずメモな
どを確認するなど誤ダイヤルに注意してください。
本装置の液晶表示上に表示されている番号のみの確認
では、誤ダイヤルを誘発する恐れがあります。

６ へ続く。

７．２短縮入力による照合

基本操作はダブルダイヤル入力と同様の操作方法です。

1

操作部の状態表示ランプは点灯していること
液晶には「ﾊﾞﾝｺﾞｳ>　　　　　　」と表示されて
いることを確認します。

ﾊﾞﾝｺﾞｳ>

2

ファクシミリに送信準備のために原稿をセット
します。
ファクシミリからダイヤル操作は行いません。

3

操作部から短縮ボタンを押します。
短縮ボタンを押すと「@@」が表示されます。
「@@」は短縮を意味します。

ﾊﾞﾝｺﾞｳ>@@

続けて短縮番号を入力します。
短縮番号の入力は３桁で行います。

短縮入力の液晶表示

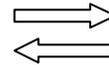
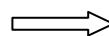
ﾊﾞﾝｺﾞｳ>@@123

4

入力した番号を確認して登録ボタンを押します。
登録のメッセージが表示され、ファクシミリから
のファックス送信待機の状態になります。

ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ

送信待機中の液晶表示　（表示は512版です。）

ﾄｳﾛｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ⇄ ABC ｼｮｳｼﾞ

短縮登録ができない場合の表示

ﾊﾞﾝｺﾞｳ>@@123 → ﾄｳﾛｸ ﾃﾞｷﾏｾﾝ

登録した番号を削除（キャンセル）したい場合は、
取消ボタンを２秒以上押します。

登録を削除した液晶表示

ﾄｳﾛｸ ｻｸｼﾞｮ

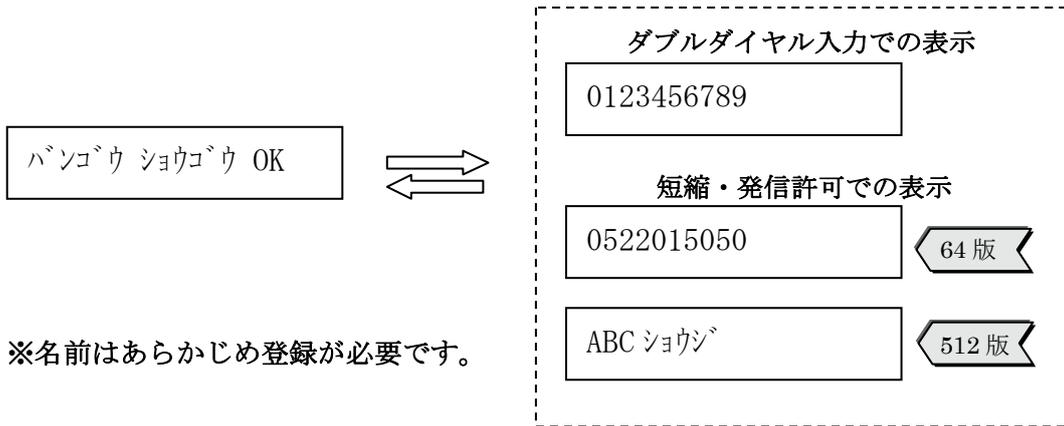
5

ファクシミリにてワンタッチボタンや相手先の番
号を入力などして、ファクシミリのスタートキー
を押し、ファックス送信を開始します。

6 本装置への入力した番号とファクシミリからのダイヤルを照合します。

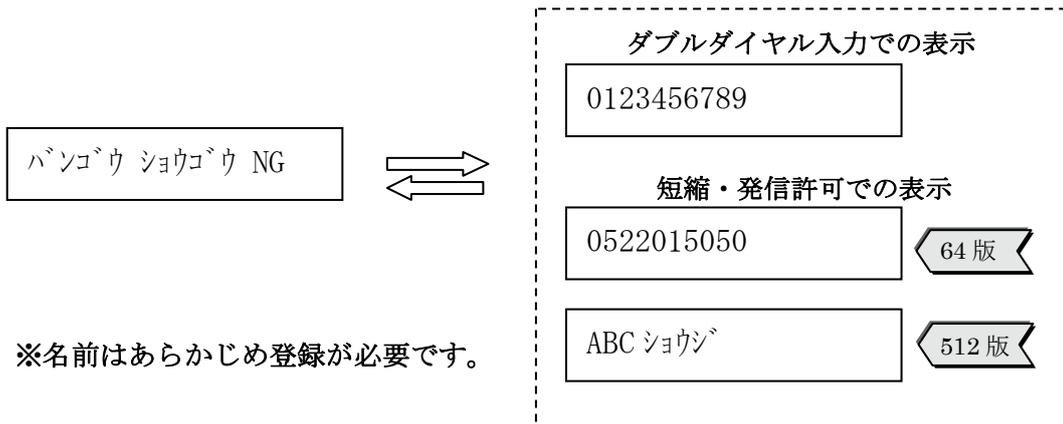
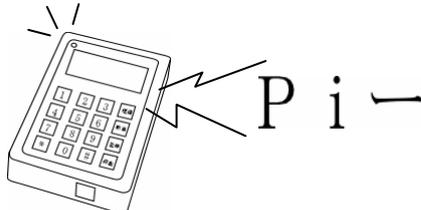
＜本装置とファクシミリのダイヤル照合が一致した場合＞

状態表示ランプが点灯し、液晶には下記のように表示されます。

番号が一致し、ファックス送信が行われたときの液晶表示

※通信が終了すると、自動的に待機状態に戻り、次の操作ができるようになります。

＜本装置とファクシミリのダイヤルが一致しなかった場合＞

状態表示ランプが点滅して、操作部から「ピー」という警告音が鳴ります。
また、液晶には下記のように表示されます。

番号が不一致なため発信が行われなかったときの液晶表示

※　番号照合エラーが発生した場合は、取消ボタンを２秒以上押してエラーを解除します。
　　エラーを解除するまでは、新しいファックス送信ができません。（着信は通常通りできます。）

７． ３着信中の操作

回線からの着信中に操作部より番号を入力したい場合は次の操作を行います。

1

着信通信中での液晶表示

ﾂｳｼﾝﾁｭｳ

2

操作部の取消ボタンを押し、番号入力状態にします。

ﾊﾞﾝｺﾞｳ>

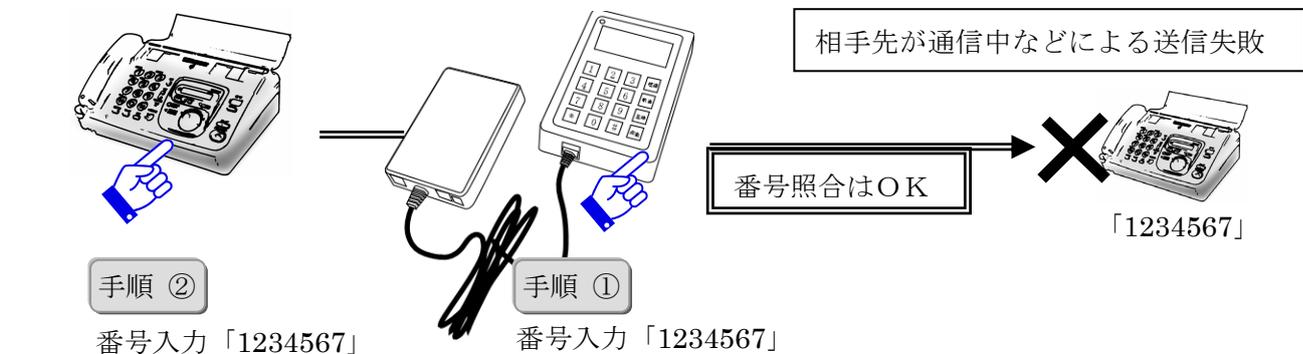
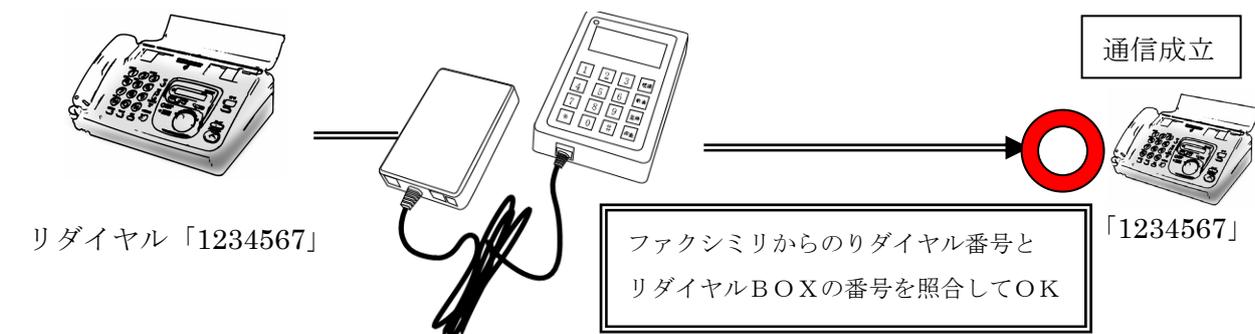
3

操作部から相手先番号を押してダイヤルを入力します。最大３２桁まで入力できます。

ﾊﾞﾝｺﾞｳ>0522016230

操作方法は、「７． １ダブルダイヤル入力による照合」または「７． ２短縮入力による照合」を参照してください。

７． ４リダイヤル機能

ダブルダイヤル入力による番号照合で最後に合致した番号は、本装置のリダイヤルＢＯＸに登録されます。リダイヤルＢＯＸに登録された番号は番号照合の際に利用され、ダブルダイヤル入力が無い場合にはリダイヤルＢＯＸの番号との照合を行うため、ファクシミリのリダイヤルに対応できます。
※リダイヤルＢＯＸの登録は１件分のみです。

リダイヤルＢＯＸ　１２３４５６が登録されます。

※一度登録されたリダイヤルＢＯＸの番号は更新されるまで保持されます。

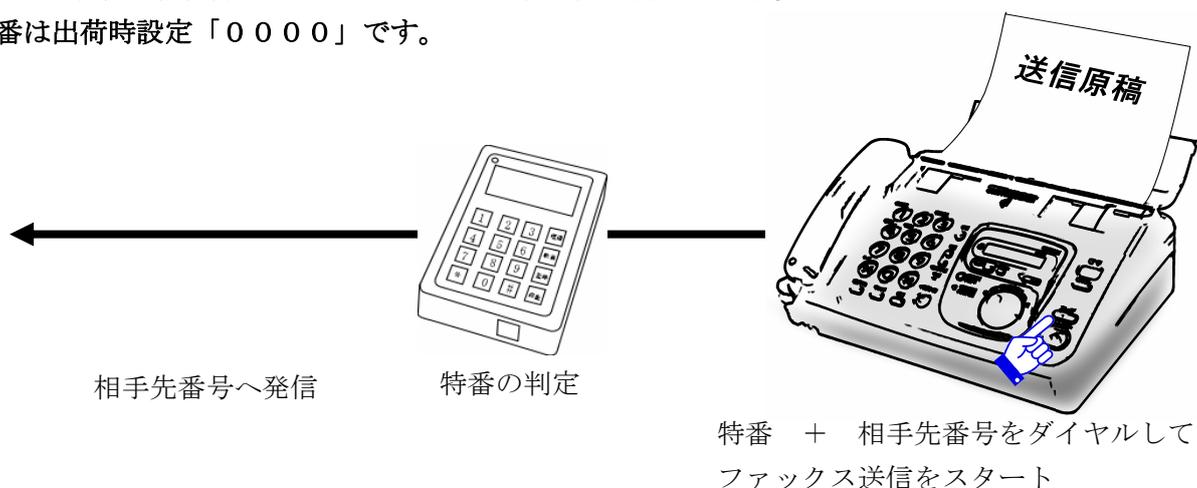
７．５発信許可番号による照合

ファックス送信時のファクシミリからのダイヤル番号の照合を、あらかじめ登録されている発信許可番号と、操作部でのダブルダイヤル入力による番号が、全て一致したときのみ送信が許可されます。

発信許可番号による照合を行う場合は、あらかじめ本装置に発信許可しても良い番号を登録していただく必要があります。

７．６カットスルー特番を使用する

ファクシミリからダイヤルを入力する際に、先頭に特番４桁を付加することで、ダイヤル番号の照合を行わず、特番以降に入力されたダイヤル番号先へ発信します。

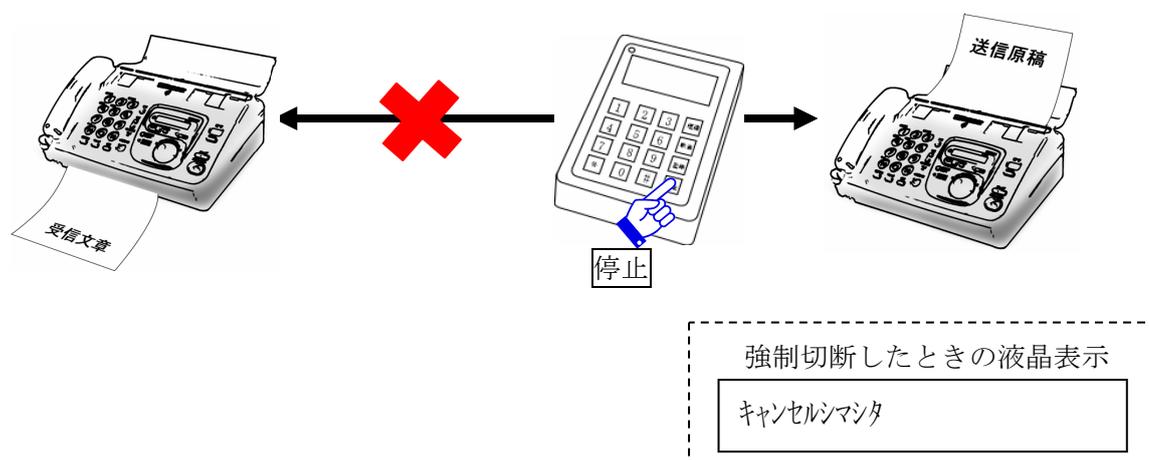
特番は出荷時設定「００００」です。

注意）カットスルー特番を利用された場合は、本装置のダブルダイヤル、短縮ダイヤル、発信許可番号によるダイヤル番号の照合は行いません。

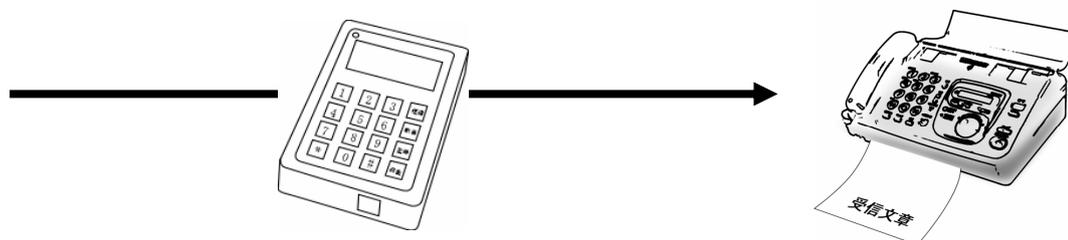
７．７通信途中での強制切断

ファックス送信の途中で通信を切断したい場合は操作部の停止ボタンを押すことで強制的に通信を切断することができます。

ただし、通信途中での強制切断を行った場合は、停止ボタンを押したタイミングや相手先ファクシミリとの接続状況により送信原稿の一部または全てが届いてしまう場合があります。

強制切断したときの液晶表示

キャンセルシマシタ

８．着信動作の基本的な使い方

着信動作は通常通りご利用いただけます。
本装置にエラー表示がされていた場合でも影響はありません。

ファクシミリが着信中は着信表示を行います。

ﾂｳｼﾝﾁｭｳ

９．その他の動作

９．１電源が切れたときの動作について

停電など電源が切れた状況の場合は、本装置は機能しないためファックス送信時においては誤ダイヤル防止機能が働かない通常の送信と同じ使い方となります。

９．２ダイヤル発信について

９．２．１蓄積ダイヤル

ダイヤル照合のため、ファクシミリからのダイヤルを一旦蓄積する順次蓄積ダイヤル方式を採用しております。

９．２．２ダイヤル種別自動認識

ファクシミリからのダイヤル種別（プッシュ、ダイヤルパルス）は自動認識されます。

９．２．３ダイヤルタイミング

ファクシミリからのダイヤルと送出タイミングは記録され、回線へのダイヤル送出時に記録したタイミングをシミュレートします。

９．３ファクシミリのメンテナンス対応について

ファクシミリのトナー切れ、紙切れなどの各種メンテナンスに対してファクシミリの機種によりセンターへ自己発信する場合があります。その際、センターの番号を本装置に登録していただく必要がございます。
センター番号の登録につきましては、パラメータ設定ツール取扱説明書をご覧ください。
センター番号が登録されていない場合、ファクシミリのメンテナンスを受けることができない場合がございます。

※メンテナンスやセンター番号につきましては、お使いのファクシミリメーカーまたは保守会社へお問合せください。

１０．操作時の注意事項

注意 1）操作部のキー操作では番号入力を途中で止め放置すると、約１０秒ほどで番号入力が無効になります。恐れ入りますが、はじめから番号を入力し直してください。

注意 2）操作部から番号登録を終えたら約３０秒の間にファクシミリからダイヤルを行ってください。番号登録から３０秒以上経過してしまいますと登録した番号は無効になります。

１１．システム設定方法

お客様の運用に合わせて、短縮番号や発信許可番号の登録または、ダイヤル番号の照合方法を変更することができます。

設定の変更をするためには、別途「パラメータ設定ツール」をご用意いただく必要があります。

パラメータ変更ツールは付属のＣＤ－ＲＯＭに収録されておりますのでご利用ください。

設定変更についての詳細は「パラメータ設定ツール取扱説明書」をご覧ください。

注意）ファクシミリ通信中などの本装置運用中にはシステム設定の変更は行わないでください。
システム設定変更後は、必ず本装置の電源をＯＦＦし再度ＯＮしてください。
本装置とＰＣが接続された状態での運用はおやめください。

１２． 主な仕様

	項　目	内　　容
インタフェース部	収容回線数	１回線
	接続端末数	１端末
	操作部接続ケーブル	先端プラグ形状ＲＪ－４５　ケーブル長：約２ｍ
	PC インタフェース	Ｄ－Ｓｕｂ９Ｐｉｎオス
	適用回線	ＮＴＴ回線準拠
	配線方法	モジュラープラグ
	適用ファクシミリ	Ｇ３／スーパーＧ３ＦＡＸ
	電源	ＡＣアダプタ（１５V/４００mA）
	本体寸法（W×D×H）単位:ｍｍ	約８４×１２０×２５（突出部を除く）
	質量	１１０ｇ
操作部	インタフェース部接続コネクタ	ジャック形状　ＲＪ－４５
	キー種別	０～９、＊、＃、短縮、登録、取消、停止
	本体ＬＥＤ	電源ＯＮ（点灯）／エラー（点滅）
	本体寸法（W×D×H）単位:ｍｍ	約１００×１５０×３４（突出部を除く）
	質量	２４０ｇ
環境	動作温度	５～４５℃
	湿度	２０～８０％Ｒｈ（結露しないこと）

製品保証書

型名		製造番号	

保証期間		平成　　年　　月　　日～　　年　　月　　日まで
ご需要先	ご住所	郵便番号□□□□□□□ TEL　　―
	ご会社名	様
	ご担当者名	様　　TEL　　―
代理店 住所 氏名		TEL　　―
営業所名 住所 担当者		営業所 TEL　　―

この製品は下記の通り保証いたします。

1. この製品は、厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。保証期間内に、正常な使用状態において万一故障した場合には、1年間無償で修理いたします。
2. 修理は、最寄りの代理店もしくは当社営業所・サービスセンターに、必ずこの保証書をご提示の上お申しつけください。
3. 無償修理期間であっても、下記に記載する項目に該当する場合は有償修理となります

4. この保証書は再発行いたしません。大切に保管ください。
5. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid in JAPAN)
6. 保証書に印鑑なきものは無効です。

LET'S　今、求められるニーズを
株式会社レッツコーポレーション　株式会社レッツコーポレーション印

次の場合には有償修理となります。
(ｲ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
(ﾛ) お買い上げ後の搬送、移動、落下等による故障および損傷。
(ﾊ) 付属機器、回線、故障および損傷。
(ﾆ) 火災、風水害、地震、雷その他の天災地変および異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
(ﾎ) 特殊環境（たとえば極度の湿気、塩害、ガス害、公害、塵埃、極寒など）による故障および損傷。
(ﾍ) 保証書のご提示がない場合。
(ﾄ) 保証書の紛失あるいは所定事項の未記入または字句を勝手に訂正された場合。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。

問合せ先

本商品に関するご質問は、購入店または下記にお願いします

株式会社　レッツ・コーポレーション
電話　　　　　０５２－２０１－６２３０
ファックス　　０５２－２０１－５０５０
問い合わせ時間　９：１０～１８：００
　　　　　　　（土、日、祝日祭日を除く）

改良、改善などのため予告なく仕様及びそのほかの変更を行うことがありますのであらかじめご了承ください。